

第35回 国際労働問題シンポジウム

船員の労働と物流

—暮らしを支えるサプライチェーン—

主催：ILO駐日事務所／法政大学大原社会問題研究所 後援：日本ILO協議会

2022年

10月17日(月)
13時30分～16時15分

参加費無料
要参加申込み

オンライン参加
(Zoomウェビナー)

会場参加
(上限40人)

国連大学本部ビル
1階アネックススペース
(東京都渋谷区神宮前5-53-70)
「表参道」「渋谷」駅下車

コロナ禍において、陸運・海運・空運など、物流業界で働く労働者の問題が世界的に顕在化しました。海運業界ではどのような問題が起きていて、国際的にどういった対応が行われているのでしょうか。私たちの暮らしを支えるサプライチェーンと海運業界とのつながりを知り、船員の労働者が直面する課題について、皆さんとともに考えたいと思います。政労使はもちろん、学生、市民の皆様など、多数の方々のご参加をお待ちしております。

主催者挨拶

高崎 真一 (ILO駐日代表)

布川 日佐史 (法政大学大原社会問題研究所所長)

講演

海運業界・船員の仕事と私たちの暮らしは
どう結びついているのか

森 隆行 (流通科学大学名誉教授)

船員の仕事と海運について—使用者の立場から
越水 豊 (日本船主協会 常務理事)

船員の仕事と海運について—労働者の立場から
全日本海員組合 (予定)

船員として働くためのルールや権利について
—政府の立場から

浦野 靖弘 (国土交通省 海事局 船員政策課 国際業務調整官)

コロナ禍の船員交代危機の状況とILOなどによる
国際的な対応

秋山 伸一 (ILO本部 部門別政策局 次長) オンライン講演

パネルディスカッション

モデレーター 藤原 千沙 (法政大学大原社会問題研究所教授)

司会：榎 一江 (法政大学大原社会問題研究所教授)



©ILO



©ILO

貨物船“Y M Orchid”と
女性船員 Wang Chung-Haiさん



©ILO

パームオイルを輸送する貨物船
“Kalimantan Palm”の船員たち



©ILO

参加申込み



オンライン参加

左コードのフォーマットよりお申込みください。
ZoomウェビナーのURLが自動返信されます。

会場参加 (10月14日(金) 正午締切)

右コードのフォーマットよりお申込みください。40人に達した時点で
登録を締め切りますので、申込みができた方は会場にお越しください。

